

【あらすじ】「くすぐり私刑」

本PDFでは、あらすじをご紹介します。

今回は、サラリーマンの男が素行を注意したことで、女学生3人のターゲットにされ、くすぐり拷問を受けるストーリーとなります。

※本作は若干ハードな作品となっております。

気分を害す可能性があります。ご了承くださいませ。

※FFF / M 作品となります。

※くすぐり、言葉責め、拘束

是非、お楽しみくださいね！

第一章：仕掛けられた罠

仕事帰りのサラリーマンが、街角でポイ捨てする女子三人組を注意する。しかし彼女たちは笑顔の裏で仕返しを企み、言葉巧みに人通りのない路地へ誘い込む。眠らされ、目覚めた先は冷たい倉庫。待っていたのは宙吊り拘束と、無邪気で残酷なくすぐり拷問の始まりだった。

第二章：笑い地獄の幕開け

逃げられない宙吊り状態のまま、三人組による容赦なくすぐりが始まる。脇腹・足裏・耳裏と敏感な場所を次々攻められ、笑い悲鳴が倉庫に響く。リーダー格の冷たい笑みと、仲間たちの無邪気な指先が、男の理性を削っていく。

第三章：終わりなき連続責め

汗と涙でぐしゃぐしゃになった男に、くすぐりのリレー攻撃が続く。屈辱と羞恥に耐えきれず、心は徐々に折れていく。「やめてほしい？」と問われても、返ってくるのは「やめな〜い♪」の一言。抵抗の余地を奪われ、屈服の二文字が胸に迫る。

第四章：屈服の宣言

「奴隷にしてください」と言えば解放すると告げられるが、拒む男。即座に継続される拷問と、羽根や道具を使った新たな責めに呼吸すら奪われ、ついに屈服を宣言する。だが解放はなく、「奴隷生活1日目」が笑顔で告げられる。

第五章：刻まれた敗北

限界を超えた男は、奴隷として扱われながらも最後まで笑いの渦に翻弄される。降ろされた後も立てず、三人組から「次回も呼ぶ」と動画での脅しを受け、完全に支配される。宙吊りの恐怖と羞恥、そして笑いの極限は、生涯忘れられない“教訓”となった。